

植物標本作成を体験する参加者ら



植物標本作り学ぶ

弘大白神
観察園

学生ら基礎を指導

西目屋村川原平にある弘前大学白神自然観察園で18日、「白神の植物標本作成講座」が開かれ、市民が植物標本の作り方の基礎を学んだ。

講座は弘大教育学部ラボバスプロジェクト、弘大白神自然環境研究所、弘大男女共同参画推進室の主催。市民に植物標本の作成法を知ってもらうこと、他に、同推進室が取り組

む理系の女性研究者育成事業の一環として、学生に指導体験をしてもらおうと、企画された。この日は市民20人と理工学部・農学生命科学部からアシスタント役の学生4人が参加し、同研究所の山岸洋貴助教が講師を務めた。

参加者は同自然観察園で解説を受けながらハクウンボク、シンガ

シラなどを採取。その後、山岸助教から説明を受けて教育研究棟で植物標本の整形や押し方を学んだ。

最後に参加者は、山岸助教と学生があらかじめ押し付けた植物を台紙に張り付け、植物標本を完成させた。山岸助教は「標本は植物の特徴を分かりやすいように作ることが重要」と話した。

(齋絢一郎)